



4月号 令和6年4月8日発行

荏田小たよりの

横浜市都筑区荏田南町694番地 [Tel911-0149]
[http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/eda/]



**自分なりの問いを立て、自分なりの仕方で、自分なりの
答えにたどり着く探究型の学び**

校長 伊藤 智樹

お子様のご入学・ご進級おめでとうございます。1年生が入学し令和6年度がスタートしました。教職員も新たなメンバーが着任しました。教職員一同、気持ちを一つにして新しいスタートをきりたいと考えています。

私は荏田小に着任して6年目になりました。昨年度の学校経営で取り組めたことや課題は何だろう」「どんな学校を目指そうかな」「子どもたちの学びはどうしようかな」と春休み期間中に自分なりに考えてみました。

「教育とは、学校で習ったすべてのことを忘れてしまった後に、自分の中に残るものをいう。そして、その力を社会が直面する諸問題の解決に役立たせるべく、自ら考え行動できる人間をつくること、それが教育の目的といえよう。」
～アインシュタイン～

上記は相対性理論で有名なノーベル物理学賞を受賞したアルベルト・アインシュタインの言葉です。「学校で習ったすべてのことを忘れてしまった後に、自分の中に残るもの」と教育の意義を述べています。仮に「学校で習ったこと」を「教科書での知識」と「自分の中に残るもの」「諸問題の解決に役立たせる」等を「解決していくための力・考え方・態度・姿勢」という言葉に置き換えると学校教育の現状が表れているのではないかと思います。



教科書で得られる知識も重要です。知識がないと思考力や表現力を身につけることは難しいことがあります。私が考える知識は「暗記だけの知識」ではなく、子どもたちが問いを立て、自ら追究していくプロセスで身につく「価値ある知識」です。荏田小に着任して高学年を中心に担任と一緒に社会科の授業を行ってきました。その中で大切にしたい私の授業観は児童理解をしたうえで「問いを立て、問いを追究していくプロセスの中で知識・思考力・表現力を育成していく」ことです。

様々な形態や媒体を用いながら子どもたちは知識を得たり、思考力や判断力、表現力を身に付けたりします。私たち教職員の使命はただ知識を教えるだけでなく、子どもたちが没入できる探究活動等を通して「価値ある知識」を身に付けさせること、「人と人が互いの思いや考え、願いをもとに話し合い考えることでよりよい社会をつかっていくという感情の涵養」ではないかと思います。

コロナ禍を通して得られた知見をもとに時代の変化に対応した教育内容を取り入れながらも、本校の伝統を守り、地域を核にした教育活動を大切にしていきたいと考えています。どうぞ変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

荏田小学校の学校教育目標

「つくろう明日 わたしはチャレンジャー」

- 【知】自ら考え、よりよく解決する力を育みます。
- 【徳】自分を大切にし、人を思いやる心を育みます。
- 【体・徳】豊かな体験を通して、健やかな心と体を育みます。
- 【公】つながりを大切にし、よりよく生きようとする力を育みます。
- 【開】コミュニケーションを通して互いの違いを理解し、ともに生きていく力を育みます。

